

令和7年度 第1回隠岐高等学校魅力化コンソーシアム魅力UP委員会議事録

令和7年6月17日（火）16:40～17:30

隠岐高校 総合実践室

メンバー 橋本委員長、金井役員、永島役員、牧尾役員、藤田役員、石川役員
大原委員、谷本委員、原教頭、若林総務部長、福島生徒指導部長、
事務局 竹崎（進行）・石原

本日の流れ

① 橋本委員長 挨拶

② 「隠岐高がどんな人材を育成すべきか ～具体的人材像について・学校の進むべき方向性について～」 ・目標が抽象的⇒具体化していくことが課題

●委員のご意見

- ・島前との交流を増やしていくべき
- ・隠岐高生の感じる生の気持ちを後輩の中学生にアピールする場が必要ではないか
- ・子供たち同士が直接交流する機会を増やしていくべきではないか
- ・子供たちが作る隠岐高にしていきたい
- ・島外へ「隠岐人チャンネル」と協同し発信してみてもどうか
- ・島外にアピールする内容を島内の子供たちが魅力に感じるかどうか改めて考え直してみるべき
- ・島内でニーズを満たせなければ、島内の子供たちは島外へ流出していく
- ・島内向け、島外向けのアプローチは分けて考えるべき
- ・箔付きオープンスクールはどうか
- ・中学生がなにを重視してるか？楽しいから、友達がいる学校に行きたいから…etc
- ・GE0 目当てで隠岐高を志望する中学生が少ないのではないかな
⇒中学生のニーズとズレがある？進路保障、部活など具体的な要因をつぶしていく必要がある
- ・進路についてマンツーマンで対応できるような体制が必要
- ・やることが多くて生徒・教員ともにキャパオーバーしている可能性がある
- ・生徒の目的意識に寄り添うような発信や指導をしてほしい
- ・受け入れ態勢を寛容に